

公開審議事項

件名・議案	提案者	資料 (頁)	提案理由等 (※シンポジウム等、後援関係については概要を記載)	説明者	根拠規定等	
1. 協力学術研究団体関係						
提案 1	日本学術会議協力学術研究団体を指定すること	会長	2	日本学術会議協力学術研究団体への新規申込のあった下記団体について、科学者委員会の意見に基づき、指定することとしたい。 ①日本乳幼児医学・心理学会 ②美術解剖学会 ※令和8年4月20日現在2,216団体（上記申請団体を含む）	—	会則36条
2. 後援						
提案 2	国内会議の後援をすること	会長	3	以下について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。 ・こども環境学会2026年大会（横浜） 『アフターコロナのこども環境』	—	後援名義使用承認基準3（2）ウ
3. その他						
提案 3	日本学術会議と日本科学未来館との協働イベントの開催について	会長	4	主催：日本学術会議、日本科学未来館 日時：令和8（2026）年8月8日（土） イベントⅠ 10:00～13:00 イベントⅡ 14:30～16:00 場所：日本科学未来館7階未来館ホール、常設展示フロア他 （東京都江東区青海2丁目3番6号）（ハイブリッド開催）	—	—

日本学術会議協力学術研究団体の新規指定について

	団体名	概 要
1	<p>日本乳幼児医学・心理学会 (https://www.jampsi.org/)</p>	<p>本団体は、乳幼児に関する医学的および心理学的研究を行い、この領域の進歩発展に寄与し、もって、乳幼児の健全な成長・発達に資することを目的とする。</p>
2	<p>美術解剖学会 (https://www.jsaa1994.com/)</p>	<p>本団体は、美術解剖学の進歩、発展をはかることを目的とする。</p>

○国内会議の後援（1件）

以下について、後援の申請があり、関係する部に審議付託したところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。

1. こども環境学会 2026 年大会（横浜）『アフターコロナのこども環境』

主催：公益社団法人こども環境学会

期間：令和8年6月5日（金）～6月7日（日）

場所：鶴見大学・鶴見大学短期大学部、鶴見大学附属三松幼稚園（オンライン併用）

参加予定者数：約 400 名

申請者：公益社団法人こども環境学会 代表理事 仙田 満

審議付託先：第一部、第二部、第三部

審議付託結果：第一部、第二部、第三部承認

日本学術会議と日本科学未来館との協働イベントの開催について

1. 主 催：日本学術会議、日本科学未来館
2. 共 催：なし
3. 後 援：なし
4. 日 時：令和 8（2026）年 8 月 8 日（土） イベント I 10:00～13:00
イベント II 14:30～16:00
5. 場 所：日本科学未来館 7 階未来館ホール、常設展示フロア他
（東京都江東区青海 2 丁目 3 番 6 号）
（イベント I 前半のみハイブリッド開催）
6. 一般参加の可否：可
一般参加者の参加費の有無：無
7. 開催趣旨：
AI を共通テーマに、理学・工学系（第三部）、生命科学系（第二部）、人文・社会科学系（第一部）の研究者が、それぞれの立場から話題を提供する。現在の AI 技術の話から始まり、医療や農業での活用、そして社会や日常へと視点を移していく構成とし、最終的に、次代を担う若い世代が日常で AI とどう向き合うかを考えるグループディスカッションを実施する。
研究者と参加者が直接対話することで、学術と社会のつながりを実感できる場を創ることを目指す。
8. 次 第：
<イベント I >
10:00-10:10 オープニング、開会挨拶
光石 衛（日本学術会議会長、第三部会員／東京大学名誉教授／帝京大学先端総合研究機構特任教授）
浅川 智恵子（日本学術会議第三部会員／慶應義塾大学大学院理工学研究科特任教授／日本科学未来館館長／CarnegieMellonUniversityIBM 特別功労教授）
10:10-10:40 第三部話題提供（話題提供 20 分、その他 10 分）
AI はいま何ができる？ 研究の最前線から見えてくる未来（仮題）

コーディネーター：出沢 良樹(日本科学未来館科学コミュニケーター)

黒橋 禎夫 (日本学術会議第三部会員／大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所所長／京都大学大学院情報学研究科特定教授)

長谷山 美紀 (日本学術会議連携会員、北海道大学大学院情報科学研究科教授)

10:40-11:10 第二部話題提供 (話題提供 20 分、その他 10 分)

すでに始まっている未来？ 医療・農業と AI の現在地 (仮題)

コーディネーター：安藤 未来(日本科学未来館科学コミュニケーター)

奥野 恭史 (日本学術会議第二部会員／京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻ビッグデータ医科学分野教授)

野口 伸 (日本学術会議連携会員／北海道大学大学院農学研究院研究院長・教授)

11:10-11:40 第一部より話題提供 (話題提供 20 分、その他 10 分)

こんなとき、使っていい？ AI と生きるための考え方 (仮題)

コーディネーター：平井 元康(日本科学未来館科学コミュニケーター)

中村 征樹 (日本学術会議第一部会員／大阪大学全学教育推進機構教授)

美馬 のゆり (日本学術会議第一部会員／公立ほこだて未来大学システム特命教授)

11:40-12:10 パネルディスカッション (ディスカッション 20 分、その他 10 分)

研究者と、みんなと、はなしてみよう AI とわたしたちのこれから (仮題)

コーディネーター：青木 皓子(日本科学未来館科学コミュニケーター)

登壇者：話題提供参加の 6 名

※オンライン配信終了

12:10-12:20 休憩 (グループ分け、移動)

12:20-12:50 グループディスカッション

グループに分かれて、参加者と日本学術会議会員・連携会員がフラットに議論

12:50-13:00 参加証授与、記念撮影、クロージング

(下線の講演者等は、日本学術会議会員・連携会員)

<イベントⅡ>

14:30-14:40 オープニング、概要説明

14:40-15:50 研究者（日本学術会議会員・連携会員）とめぐろう未来館展示ツアー

15:50-16:00 参加証授与、記念撮影、クロージング

9. 経費負担の考え方

学術フォーラムに準じる